

都市農業に関する学習実施の報告（足立区立花保小学校）

1. 取り組みの概要

東京都足立区は全校で自校方式の学校給食が導入されており、地域の農作物を活用した食育給食に取り組んでいる。足立区立花保小学校では、学校給食に食材を提供するコマツナ農家 C 氏の協力を得て 3 年生の総合的な学習にてコマツナの栽培及びコマツナ農家の農園見学を行った。






児童は先ず農家の助けなく学校の花壇にてコマツナを栽培・観察、C 氏の栽培したコマツナとの違いを比較し、疑問点を整理した後 C 氏の農園を訪問、コマツナ栽培の工夫を見学した。

農園見学概要

日 時	平成 27 年 2 月 9 日（月）8：45～12：15
対 象	足立区立花保小学校 第 3 学年（3 クラス）
見 学 先	足立区辰沼 コマツナ農園
見 学 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・コマツナの歴史 ・コマツナの育て方 ・C 氏への質問

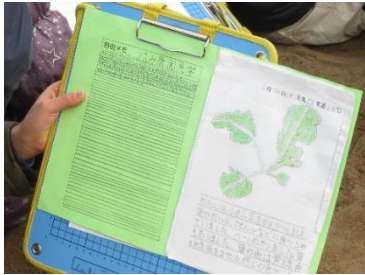



2. 平成 26 年度 第 3 学年 総合的な学習の時間 コマツナ農園見学 学習の様子

学習内容	報 告
事前学習	<p>◎学校の花壇を利用した畑でコマツナを栽培し、コマツナの種子の様子や成長の様子を観察した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">※コマツナの育て方は児童がインターネットなどで調べ、農家からの専門的なアドバイスは行わなかった。</p>
事前学習	<p>◎コマツナ農家 C 氏に来校いただき、C 氏の育てたコマツナを見せながら、コマツナを育てる心構え（コマツナは生き物であり、こまめに面倒をみなくてはならないこと）などを講義していただく。</p>
事前学習	<p>◎C 氏の育てたコマツナと自分たちの育てたコマツナを比較し、どのような工夫をすれば立派なコマツナに育つのか、など C 氏への質問を整理</p>


学習内容	報 告
農園見学	<p>◎C 氏の農園まで訪れ、コマツナの育て方や歴史などについて学んだ</p> <p>8:45 ■校庭集合 ・道路に広がって歩かないなど注意事項の説明</p> <p>9:00 ■学校出発 (徒歩移動)</p> <p>9:25 ■農園到着 (荷物置き、整列)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p style="text-align: center;">移動風景</p> <p style="text-align: center;">荷物置き</p> <p>9:35 ■C 氏のお話開始</p> <p>※7 名のお手伝い（援農ボランティアなど）が授業を補助</p> <p>※以下、C 氏と児童の対話形式にて授業</p> <p>「⇒」：児童の発言 < >：体験や実演</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【導入】 9:35～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが育てたコマツナはどうだったか。 ⇒虫に食われてしまった。小さかった。 ・それはなぜかな。 ⇒水をあげていない。土が良くなかった。肥料をあげていない。日当たりや風当たりが良くなかった。 ・コマツナをどんな「おもい」で育てるかでコマツナは変わる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>C 氏農園 ビニールハウス内</p> </div> </div> <p>【コマツナの歴史】 9:45～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コマツナの名前の由来について、劇と紙芝居形式で説明

学習内容	報 告
	<ul style="list-style-type: none"> ・語り手は援農ボランティアが担当 ・鷹狩りの説明部分には先生が参加 <p>内容：8 代将軍徳川吉宗の時代、小松川付近に鷹狩りに出かけた将軍が昼に食べた菜の汁物を気に入り名前を訪ねた。当時地元では「葛西菜」などと呼ばれていたが「きちんとした名前はないという」旨を伝えると、将軍は小松川の小松をとって「コマツナ」と名付けた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">紙芝居や劇</p>
	<p>【コマツナの育て方や工夫】 9:50～</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆コマツナは 1,000 種類もあるが、旬はちょうど今頃、寒くなるとコマツナがエネルギーをためる。アクが出てきて毎日触っていると手が荒れる。 ◆種の色：みんなが育てたコマツナの種の色は茶色だったということだが、私がまいている種は、緑色である。(袋に入れた二種類の種子を比較させる) 種をコーティングして、発芽しやすく、病気に強くしている。 ◆土：この農園では 1 年で 50 t、8 万束、学校給食 21 校分のコマツナを育てている。土が疲れないように、上側の土と下の土を入れ替えている。 <手作業で土を耕した後、土を耕す機械を実演> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">クワの体験と 機械の実演</div> <ul style="list-style-type: none"> ◆肥料：学校でコマツナを育てた時には肥料を使わなかったということだが、農園では有機肥料を使用している。 <袋に入った有機肥料を 10 袋程度配布、においをかぐ> 牛・豚・鶏のふんは、美味しい野菜になる。 <手作業で土を耕した後、肥料を混ぜながらまく機械、土を耕す機械を実演> <土を耕した上を歩いてみると土が柔らかくなっており沈む> 柔らかすぎる土は、コマツナを育てるのには良くない

学習内容	報 告
	<p data-bbox="384 259 1059 293"><土をならす機械を実演、再び土の上を歩いてみる></p> <div data-bbox="392 309 735 562">  </div> <div data-bbox="746 309 1090 562">  </div> <div data-bbox="1102 501 1393 562" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>肥料や土に触れる</p> </div> <div data-bbox="392 577 735 831">  </div> <div data-bbox="746 577 1090 831">  </div> <div data-bbox="1102 770 1393 831" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>機械の実演</p> </div> <p data-bbox="328 882 1436 965">◆種の植え方：学校では溝をつくって、種をまき、土をかけたということだが、ほとんど発芽しなかったようだ。なぜ発芽しなかったのかな。</p> <p data-bbox="408 976 1299 1010">⇒水がかかっていなかった。草が周りに生えていた。深くまきすぎた。</p> <p data-bbox="381 1021 962 1055">種は 6 cm 間隔で一粒ずつまいてあげると良い。</p> <p data-bbox="384 1066 722 1099"><種をまく機械を見せる></p> <p data-bbox="381 1122 1436 1245">みんなは学校でどれくらいコマツナに足音をきかせてあげたかな。毎日、いつもコマツナのことを気にかけて、コマツナに足音を聞かせていると、コマツナにもおおいが通じる。</p> <div data-bbox="381 1256 746 1532">  </div> <div data-bbox="759 1256 1125 1532">  </div> <div data-bbox="1137 1473 1428 1532" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>種まきの説明</p> </div> <p data-bbox="328 1554 1436 1637">◆水やり：学校では水やりは雨まかせだったということだが、この農園のビニールハウスでは、機械で水をあげている。</p> <p data-bbox="408 1648 892 1682"><隣の区画のスプリンクラーの実演></p> <p data-bbox="381 1693 989 1727">水は霧のようになっていてコマツナにやさしい。</p> <p data-bbox="328 1794 1436 1877">◆虫とり：学校のコマツナは虫に食べられてしまったということだが、このハウスにも虫が出る。みんなの周りにあるペットボトルをみてみよう</p> <p data-bbox="408 1888 1174 1921"><ペットボトルの周囲の黄色いラベルに虫が集まっている></p> <p data-bbox="381 1933 1436 2016">虫が黄色を好きなのを利用して、低農薬でコマツナをつくっている。環境に優しい農業をしている人をエコファーマーとって、東京都の 2 万人の農家の中で 200 人</p>

学習内容	報 告
	<p>が認定されている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">害虫対策</div> <p>◆コマツナの袋詰め：コマツナを育てるのにたくさんの機械を使っているが、どうしても機械にできない作業が収穫や袋詰めだ。</p> <p><代表児童 3 名が収穫してあるコマツナを出荷用の袋詰め体験></p> <p>どんな気持ちかな。</p> <p>⇒安全に食べて欲しい。おいしく食べて欲しい。残さず全部食べて欲しい。</p> <p>コマツナを食べる方は、心をこめて袋詰をしてもらってどんな気持ちかな。</p> <p>⇒せっかくいっしょうけんめいつくってくれたので 残さず食べたい</p> <p>おいしく食べたい。好き嫌いしないで食べたい。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div> <p>◆災害時協力農地：この看板を見たことがあるかな。災害時協力農地とって、地震など災害が起こった時にみんなが逃げてきてもいいということである。外で地震等にあった時には逃げて来るように。この農地はコマツナの命をつくるだけではなくて、みんなの命も守ってくれる。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>
	<p>【質問】</p> <p>⇒コマツナを育てることになったきっかけは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親がコマツナをつくっていたが、昔はこの土地に幼稚園をつくりたかった。父や祖父が病気になって、つくっていたコマツナを市場に運ぶのを手伝うようになった。 <p>⇒お休みはあるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お休みはほとんどなく、お正月にもコマツナの面倒を見ている。旅行にも行かない。 <p>⇒どれくらいの量つくっているか</p>

学習内容	報 告
	<p>・足立区の生産量 1,000 t 中の 50 t をつくっている。</p> <p>⇒コマツナ農家をやめたいと思ったことはあるか</p> <p>・ありません</p> <p>⇒何人でコマツナをつくっているか</p> <p>・4 人と、今日来てもらっているようなお手伝いさんにもお願いしている。</p> <p>⇒コマツナの仕事の時間は</p> <p>・朝 4 時に起きて夜 10 時に寝る。</p> <p>⇒機械は何台あるか</p> <p>・8 台ある</p> <p>⇒コマツナをつくって何年になるか</p> <p>・18 歳から 53 歳で 35 年だ。</p> <p>⇒種はどれくらいまくか。</p> <p>・種の缶詰 1 つに 4 万粒の種が入っており、年に 50 缶使用する。</p> <p>⇒うまく育たなかったコマツナはどうしているのか。</p> <p>・みなさんには良く育ったコマツナを食べてほしいので、残念だが処分している。</p> <p>⇒他の野菜を育てたいと思うか。</p> <p>・思わない。</p> <p>⇒一番の苦労は何か。</p> <p>・特にない。大変なことが多いのかもしれないが、苦労と思わなでいるからコマツナ農家が続けられる。</p> <p>⇒うれしくなるのはどんな時か。</p> <p>・食べてくれる人がおいしいと言ってくれたとき。</p> <p>⇒楽しくなるのはどんな時か。</p> <p>・美しくおいしいコマツナができたとき。</p> <p>・毎年たくさんのコマツナをつくっているが、完璧なコマツナをつくることはとても難しい。</p>

学習内容	報 告
	<p>【収穫体験】</p> <p>・講義や実演を行ったものとは別のビニールハウスに移動し、コマツナの収穫体験を実施した。</p> <div data-bbox="359 398 1074 663" style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p>11:45■農園出発 (徒歩移動)</p> <p>12:15■学校到着</p> <p>■C氏の工夫</p> <p>・約一時間半の農園見学の中で児童の注意を引き、話を飽きさせない工夫が多く盛り込まれていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 劇や紙芝居など話の伝え方に変化をつける。紙芝居部分など話し手を途中で変える。 ➢ 劇に教員を巻き込む。 ➢ 種子・野菜、防災協力農地看板の実物を見せる。触らせる。 ➢ 農業機械・スプリンクラーなどを10分程度おきに実演する。 ➢ 農業機械での作業と、昔の農業器具を使用した手作業を体験させ比較させる。 ➢ 実演に合わせて列の前の位置を変更し、整列しなおさせる。 ➢ 児童との会話形式、児童への質問形式で話題を展開する。 ➢ コマツナを育てる人の気持ち、食べる人の気持ちのそれぞれを考えさせる。 ➢ 最後に収穫体験を行うことで、見学全体のストーリーが生まれる。

学習内容	報 告
<p>学習のまとめ</p>	<p>◎発表会（ポスターセッション）の開催（11：35～12：20）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5名程度を1グループとして、班ごとにコマツナについてまとめたポスターを制作した。 ・ポスターの内容は、C氏農園の様子やコマツナの育て方・歴史・栄養価・レシピなど多様である。 ・ポスターセッションは前半と後半に分け、児童はどちらかの時間で発表を行い、空き時間で各クラスの発表をきいてもらった。 ・農家C氏も参加しセッションをきいた。 <p>◎ランチルームにてC氏と給食（12：20～13：05）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランチルームに1クラスが集まり、農家C氏とコマツナを使用した給食をとった。 ・席順はくじにて決定した。 ・メニューは、しょうゆラーメン、コマツナまん、こまつなケーキ、牛乳など。 <p>◎農家C氏よりまとめのお話（13：10～13：20）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全クラスが集合し、これまでのコマツナの学習をふりかえり、C氏より、「感謝の気持ち」や「おもい」を持って生活していくことの大切さについてお話をいただいた。
	 <p>ポスターセッション</p>
	  <p>C氏との給食</p>
	 <p>まとめのお話</p>

: 以上